

剣岳にチャレンジ

- ① よい心と体をつくろう。
- ② ルールを守り、仲間を思いやろう。
- ③ もんを出し合い、よく考えよう。

☆感染防止と

子供たちの学びの両立に向けて☆ ～3密を避け、可能な限りの距離を確保～

校長 山下 徹

風薫る5月、本来なら、全校で運動会に向けて準備をし、充実した学校生活を行っているはずが、新型コロナウイルス感染防止のための臨時休業が続いています。職員も、子供の声が響かない学校がこれほど長期に及ぶのは経験がなく、大変、辛く寂しい思いをしています。

そんな中、先日の三者懇談会では、感染防止に注意し、学級担任と児童、保護者で、休業中の家での様子や、困っていることなどについて話し合うことができ、大変良かったと思っています。児童からは「早く学校に行きたい」「友達と遊びたい」等、学校再開を待ちわびる声が多くありました。

来週からは、感染防止の取組を行いながら、分散登校という形で学校に登校できることになりました。国が「新しい生活様式」を掲げているように、通常とは異なる学校生活になりますが、友達と一緒に学習できることに感謝して一日一日を積み重ねていくことが大切であると考えています。

臨時休業前に比べ、中央っ子の多くは、「学校で勉強したい」という気持ちが強くなってきており、これまで以上に、一時間一時間の授業を大切に学習に取り組んでくれるものと思っています。

私は、「困難を経験した人間は、強く、優しくなれる」と信じています。中央っ子が、この経験を将来に生かして、「あの時のつらかったことが今の自分を強くしている」「今、当たり前で生活できることに感謝する」等の気持ちで、新型コロナウイルス感染収束の日を迎えられるように、職員一同で力を合わせ「感染防止と学び」の両立を目指し支援してまいります。

ご家庭でも、お子様の気持ちに寄り添い、いろいろなことについて話し合い、家族の絆を強めていただく機会としていただければと願っております。

・ ・ ・ 1 ～ 2 メートルの距離を確保 ・ ・ ・

各教室の机の配置について、子供同士の間隔を1～2メートルとるため、2年生以外の学級は、二つの教室に分かれて学習することになります。休み時間の過ごし方も、密接にならないように細心の注意を払い、感染防止に努めます。